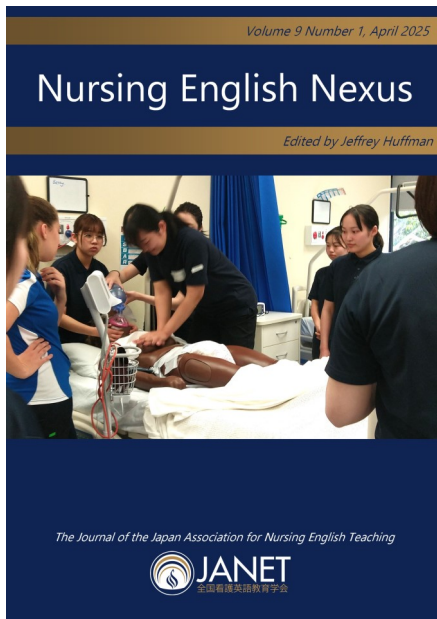


看護実践における英語力の重要性：看護師としての意見

名瀬 美紅

Conestoga College



Article citation

名瀬美紅. (2025). 看護実践における英語力重要性：看護師としての意見. *Nursing English Nexus*, 9(1), 34-36.

Nursing English Nexus

<http://www.janetorg.com/nexus>

ISSN 2433-2305

Nursing English Nexus is made available under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International License. Authors retain the right to share their article as is for personal use, internal institutional use and other scholarly purposes. English Nursing Nexus and the articles within may be used by third parties for research, teaching, and private study purposes. Please contact the author directly for permission to re-print elsewhere.



看護実践における英語力の重要性：看護師としての意見

名瀬 美紅 (moko.chibita@gmail.com)

Conestoga College, Ontario

注記：名瀬美紅さんは、2024年に本稿と同様のテーマによる発表に対してJANET学術集会の助成金を受給しました。本助成金は、他に資金源を持たないJANET会員による優れた発表提案に対して授与されるものです。受給者には、本誌への寄稿が求められます

本稿では、グローバル化の進展により日本における英語の必要性が高まっていることを論じ、国内外で働く看護師にとっての英語の重要性を強調する所存です。さまざまな看護キャリアパスにおける英語力の利点を示し、著者の経験に基づいた英語学習における実践的なアドバイスを提供します。加えて、確かな英語力によって得られる知識とスキルが、いかに多くの国における学習とキャリアの機会を可能にするかについても論じたいと思います。

現在、日本における英語力の必要性は年々高まっています。日本政府観光局(JNTO)の最近のデータによると、2023年の在日外国人数は359万人、2023年のインバウンド観光客数は3,188万人で、政府は2030年までにインバウンド観光客を6,000万人に増やすことを目指しています(JNTO, 2024)。日本人看護師にとって高い英語力を備えるメリットとは、日本国内のみでなく、海外で働くという機会にもつながっていきます。英語力を蓄えることは日本人看護師にとって主に次の3つの利点があると言えます(Mancuso, 2016)。

1. 英語を話す患者とのコミュニケーションの改善
2. グローバルな看護リソースへのアクセス
3. 多様なキャリアの機会に触れる

日本の看護師における主なキャリアパスは大きく、「一般看護師」「認定看護師・専門看護師」「教育者」に分けられます。いずれの道においても、幅広い経験と視野が必要であり、その意味でも英語力はキャリアアップに必須となります。例えば、一般看護師は英語で研究論文を検索することにより知識を深掘りすることができ、世界中の豊富な情報にアクセスすることが可能になります。特定の分野を軸に勤務し、最新の治療法や患

者ケアについて知る必要がある認定看護師や専門看護師も、英語力によってワールドワイドに最新の研究へアクセスできるというメリットがあります。教育者は、自らの研究を継続しつつ最新の情報を生徒に伝えていく必要もあります。ですから、たとえ海外に行くことを視野に入れていない看護師であっても、キャリアを積むということと英語力は切っても切れない要素の一つであると言えます。

もちろん、看護師、研究者、教育者として、より国際的にキャリアの幅を広げたいと考えているのであれば、英語力の重要度はさらに高まるでしょう。私自身の経験を挙げると、がん診療連携拠点病院として有名なMDアンダーソン病院の学習プログラムに応募する際に、英語のエッセイを提出する必要がありました。このプログラムは全て英語で行われ、私はこのプログラムに参加したおかげで世界中の医療従事者とつながることができ、看護に関する知識を広げる機会を得ることができました。これまで、看護師のキャリアに与える英語力のメリットについて説明しましたが、次に看護師や看護学生がどのように英語力を向上させればよいかについて焦点を当てていきます。英語を学習し続けるためには、キャリアの目標を明確にし、それに対してなぜ英語学習が必要なのかを強く認識することが不可欠です。英語を学ぶ具体的な理由を自分自身で特定することは、継続的な英語学習のために重要なモチベーションとなります。医療英語に苦勞している看護師には、まずは日常英会話から始めることを推奨します。このスキルは臨床現場ですぐに適用でき、患者の満足度向上に直接影響します(上林他, 2020)。

英語を習得した看護師は、英語を話す患者の対応を行う際にスムーズかつ効率的に業務を遂行することができます。そして、その成功体験は、

さらに学びたいというモチベーションにもつながります。

また、英語力を向上させるには忍耐力が重要であることも強調したいと思います。今日の現代社会においては存分に自由時間のある人など存在しません。既に決まった日々のルーティンを持つ人々にとっては、自分のスケジュールには全くもって余白がない、と感じていることが多く、趣味や勉強など新しいことを始めるのは到底不可能に思えることでしょう。一度定まったルーティンを変更するのは難しく、特に英語学習は自分の進歩を即座には実感しにくいいため継続するのが辛く難しくなって、つい断念してしまうこともあるかもしれません。このような場合は、英語学習を今ある既存のルーティンに統合してみてもいいでしょうか。そしてそれを毎日の習慣の一部にすることにより、英語の勉強というものを、歯を磨いたり朝食をとったりするのと同じくらい自然なものとして捉えられるようになります。このアプローチは、時間の経過とともに、どんなに大変なスケジュール下にあっても一貫して英語学習を可能にしてくれます。

ここからは、私が看護師をしながらも英語学習を日常生活に取り入れた方法をご紹介します。働き始めた頃は、英語学習と日々の看護業務を両立させることが大変だと感じていました。緊急対応や対人スキルを必要とするようなストレスの多い環境で働くことにより、看護師には身体的および精神的な負担がかかります。では、このような状況下で、看護師や看護学生はどのようにして英語を学び続けることができるのでしょうか？ 学生時代、私は英単語がたくさん載っていて、ひたすら夢中になれる参考書と出会いました。卒業後も、その同じ参考書をテキストとして使用し、新しい単語の意味を覚えるためにひたすら書き続ける、ということを毎日の習慣としていました。この日常的なルーティンは、英語の基礎力強化に役立ち、看護師として働きながらも学習を継続する助けとなりました。今振り返ると学生時代に築いた学習習慣や英語基礎力は大変重要であったと思います。また、看護師は夜勤の義務もあり、一人で勉強を続けるのを難しく感じていました。これを克服するために、私は世界中のメンバーと繋が

れるオンライン学習コミュニティを作りました。一緒に誰かと勉強したい、というメンバーがたくさんいるシンプルなコミュニティです。加えて、私は自分のYouTubeチャンネル (https://www.youtube.com/@Nurse_miku) やInstagram (https://www.instagram.com/miku_nurse02/) も運営しており、これらを通じて私の学習ルーティンを共有しています。このSNS運用は自分自身の学習継続と目標宣言の双方で助けとなっています。グループに参加したい人はSNSを通じて私に連絡をしてもらい、少しインタビューした後にメンバーになってもらうかを私が決めています。このコミュニティを運営することは私自身のやる気も高めてくれます。私たちは、朝の勉強会というのを午前3時にZoomで行っていますが、やる気のある仲間がいることで、一緒に良い習慣が身につく、勉強の習慣化が可能になっています。一人で学習を継続することは難しいので、具体的な目標はそれぞれ違っても、継続的な学習という目標を共有できる仲間を見つけるというのをお勧めです。

次に、私の将来の目標とキャリアビジョンを「看護師の英語力」に関連させて共有したいと思います。私は将来、カナダの「認知症村」の考え方を学び、その知識を日本に持ち帰りたいと考えています。「認知症村」は、オランダ発祥のコンセプトで、認知症患者に特化した介護施設です。英語力があれば、このように海外での介護の実践を学ぶことができ、日本の医療全体にも自分自身のキャリアにも役立つと信じています。私の経験や提案が日本における自身のキャリア向上や海外での就業を目指す看護師にとって、何かのお役に立てば幸いです。看護師と看護学生がコネクション、機会、知識を自分自身で広げていくために、日々の英語学習に取り組むことを強くお勧めしたいと思います。

参考文献

- 日本政府観光局 (JNTO) (2024). 2023年 観光統計報告. <https://www.jnto.go.jp>
- 上林千佳・近藤暁子・小泉麻美・二見茜 (2020). 「大学病院と総合病院における外国人患者対応研修に関する看護師のニーズ

および参加意欲」 『国際保健医療』 35(1),
27-38. <https://doi.org/10.11197/jaih.35.27>

Mancuso, J. (2016). Guest editorial: Building a
foundation for global nursing leadership.
Journal of Nursing Management, 24(8), 981–
982. <https://doi.org/10.1111/jonm.12433>